

沖縄県立美来工科高等学校 地理歴史科

令和 5 年 度

シ ラ バ ス

教科名	地 理 歴 史
科目名	世 界 史 A
単位数	2 単位
対象学年	3 学年
担当者名	

## 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	世界が一体化する過程を近現代史を中心にダイナミズムに考察し、現社会が抱える諸問題を理解し、歴史的思考力を身につけます。
使用教科書	「明解新世界史A」(帝国書院)
副教材等	ダイアログ世界史図表(第一学習社)

## 2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・世界の歴史事項について興味関心を高めることができたか。	・歴史上の事象の背景や人物の動きについて、課題意識をもち、考えをまとめ表現することができたか。	・図像や資料を分析し、その中身を読み取ることができたか。 ・教科書や新聞等から有用な情報の収集ができたか。	・学習した内容を踏まえ、歴史の経過を深く理解し、歴史的思考力を用いて過去に発生した諸問題の背景を追求することができたか
・授業プリント ・学習活動への参加の態度	・定期考査 ・授業プリント	・授業プリント ・ノート	・定期考査 ・授業プリント

## 3 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内容	判定基準	得点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。

## 4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

5 学習計画及び評価方法等

学 期	月	時 間	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価方法・指導	補助教材
第 1 学 期	4	1	オリエンテーション	*世界史学習のガイダンス *評価の基準の説明	行動観察 机間指導	プリント
		3	<b>1部 諸地域世界と交流圏</b> <b>序章 人類のはじまり</b> 地球上に現れた人類の文明 <b>1章 東アジア世界（1）</b> ・中国に統一国家生まれる	○人類の進化の過程と文明の成立について、近年発掘調査された遺跡を取り上げた新聞記事を用いながら学習する ○中国の最古の文明の特色を学び国が生成するまでの経過を学ぶ	行動観察 教科書読本 机間指導	教科書 ノート 新聞記事 教科書
		5 8	<b>1章 東アジア世界（2）</b> ・東アジアのもう一つの勢力 ・東アジアの国際的な大王朝 ・東アジア世界の結びつきと文化圏 ・諸民族によって統治された時代	漢族と遊牧騎馬民族との関係に留意しながら、それぞれの変遷の過程を概観し、風土と生活、言語・文字、思想などの視点を通して東アジアの世界像を把握する	教科書読本 ノート提出 机間指導 行動観察	教科書 ノート プリント 青銅器のレプリカ
	6 6	<b>2章 南アジア</b> ・南アジア世界の風土と人々 ・数々の宗教が成立した南アジア <b>3章 東南アジア</b> ・東南アジア世界の部宇都と人々 ・東南アジア世界の形成	○厳しい自然環境のもとで、宗教と社会制度を共通の基盤として、多様な風土と民族・言語からなる一つの社会が形づくられていく過程を概観し、南アジアの世界像を把握する ○地勢的にインドと中国のはざまにあるため、両文明の影響を強く受けながらも、港市ネットワークを基盤に独自の文化を生み出した東南アジアについて学習する	教科書読本 行動観察 机間指導	教科書 プリント ノート 写真	
	7 6	<b>4章 イスラーム世界</b> ・イスラーム以前の古代文明 ・イスラーム世界の誕生 ・イスラーム帝国の栄光と分裂 <b>5章 ヨーロッパ世界</b> ・ヨーロッパ世界の源流 ・祈る人・戦う人・働く人 ・「まち」と「くに」の発達	○西アジアの乾燥・半乾燥地帯を舞台にイスラームが成立していく過程を通して、政治経済、生活全般までも規定したイスラームの特色を理解する ○ギリシア・ローマ文明の伝統と、キリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパ世界の特質を理解する	教科書読本 行動観察 机間指導	教科書 プリント 掛図 写真	

第1学期の評価方法

- 1 定期考査（70%）プリント提出（10%）学習態度等（10%）板書活動・発表など（10%）
- 2 プリントの提出状況と内容を重視します。

第 2 学 期	9	8	<b>2部 一体化に向かう世界</b> <b>2章 大航海時代を迎えるヨーロッパ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパのめざめ</li> <li>・大航海時代が始まる</li> <li>・ヨーロッパの国づくりと国際関係</li> <li>・アジアの交易に参入するヨーロッパ</li> </ul> <b>3章 ヨーロッパとアメリカの諸革命（1）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリスから独立するアメリカ</li> <li>・ヨーロッパの近代化</li> <li>・フランス革命と社会生活の変化</li> </ul>	○大航海時代にヨーロッパの人々が行った海外進出の経過と、それにより世界の諸地域が受けた影響について学習する  ○18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命を中心に、社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことにより、特にヨーロッパを中心として「近代」が確立したことを確認する	教科書読本 行動観察 机間指導	教科書 掛図 写真
	10	8	<b>3章 ヨーロッパとアメリカの諸革命（2）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナポレオンのヨーロッパ支配からウィーン体制へ</li> <li>・体制用を越えて広がる革命の波</li> <li>・産業革命という大変革の開始</li> <li>・資本主義の発達と社会主義運動の発生</li> </ul> <b>4章 自由主義・ナショナリズムの進展（1）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1848年－19世紀の転換点</li> <li>・“世界の工場”</li> </ul>	○大西洋三角貿易の発達により国際的分業体制が形成されたことを学ぶ  ○産業革命をいち早く達成し、近代世界を牽引したイギリスが発展していく過程を確認する	教科書読本 行動観察 机間指導	教科書 掛図 写真
	11	8	<b>4章 自由主義・ナショナリズムの進展（2）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民国家の派展と列強の世界進出</li> <li>・アレクサンドル2世とロシアの改革</li> <li>・科学の世紀</li> </ul> <b>5章 アジア諸国の動揺</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オスマン帝国の弱体化</li> <li>・ムガル帝国の崩壊とインドの大反乱</li> <li>・東南アジアの植民地化</li> </ul>	○1848年を転換点として、自由主義と国民主義が進展した19世紀後半の欧米社会の特質を理解させる  ○西・中・東南アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌を学び、ヨーロッパ諸国とアジア諸国の関係を理解する	教科書読本 行動観察 机間指導	教科書 掛図 写真
	12	6	<b>6章 東アジアの大変動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国と日本の近代化</li> <li>・アジアにおける工業化と日清戦争</li> <li>・東アジアをめぐる国際関係</li> <li>・孫文が導いた辛亥革命</li> </ul>	東アジアの大変動を概観し、日本の対応などを含めて19世紀の世界の一体化とその特質を理解する	行動観察 教科書読本 机間指導	*地図帳 *掛図 *写真
<b>第2学期の評価方法</b> 1 定期考査（70%）プリント提出（10%）学習態度等（10%）板書活動・発表など（10%） 2 プリントの提出状況と内容を重視します。						

第 3  学 期	1	6	<b>3部 現代の世界と日本</b> <b>6章 現在に続く世界の動き</b> ・グローバル化する社会と経済 ・超大国アメリカとイスラーム情勢 ・日本を取り巻くアジアの動き	冷戦終結後の世界の動きについて理解させるとともに、これからの国際社会における日本の役割について考察する	教科書読本 行動観察 机間指導	教科書 掛図 写真
	2	2	<b>未来への1章</b> <b>ともに生きる世界をめざして</b> ・人間の権利と自由 ・“ともに生きる世界”を築くために	現代世界の状況を概観し、“ともに生きる世界”をこれから創造するために、私たちはどのようにしていけばよいか考える	行動観察 教科書読本 机間指導	*地図帳 *掛図 *写真
<b>第3学期の評価方法</b> 1 定期考査（70%）プリント提出（10%）学習態度等（10%）板書活動・発表など（10%） 2 プリントの提出状況と内容を重視します。						

沖縄県立美来工科高等学校 地理歴史科

令和 5 年 度

シ ラ バ ス

教科名	地理歴史
科目名	日本史A
単位数	2 単位
対象学年	3 学年
担当教諭	

## 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1.近現代の歴史を学習する基本となる、原始・古代から近世前半までの歴史形成過程の概観をおさえる。それを踏まえて近現代史について、世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察します。</p> <p>2.日本史学習を通して、歴史的思考力を培い平和的な国家社会の一員として国際社会に生きる日本人としての資質を養います。</p>
使用教科書	「新日本史A」(実教出版社)

## 2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
近現代史に関して興味・関心をもち意欲的に授業に取り組んでいるか。	歴史的事象から課題を見出し、日本をはじめとする国際社会の変化について公正な立場で多面的・多角的に考察しているか。	日本史に関する文献等の史料について、正しく読みとることができる。歴史的思考力を用いて考察した過程や結果を適切に表現しているか。	近現代史に関する基本的な歴史的事項を理解し知識として習得できているか。
・授業ノート ・学習活動への参加の態度	・授業ノート ・定期考査 レポート	・授業ノート ・レポート	・授業ノート ・定期考査

## 3 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。

## 4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。

評価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

5 学習計画及び評価方法等

学期	月	時間	学習内容	学習のねらい	評価方法 指導	補助教材
第1学期	4	2	オリエンテーション 歴史と生活① 日本人の食生活について調べてみよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史に関する既習内容を確認する。</li> <li>日本の一般的な食事の代表例であるカレーライスについて歴史的な視点から捉え、日本人の食生活について考える。</li> </ul>	行動観察 机間指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>PC</li> </ul>
		6	序章 日本のあゆみをふりかえろう ・日本の成り立ち 古代・中世・近世 第1章 近代日本の形成と19世紀の世界 第1節 国際環境の変化と幕藩体制の動揺 ①せまってくる外国船 ②ちからを蓄える庶民 ③近代思想のいぶき ④揺らぐ幕藩体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代以前の日本の歴史について、基本的事項を理解する。</li> <li>江戸時代の鎖国下での日本の対外関係について理解する。</li> <li>近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを理解する。</li> </ul>	行動観察 教科書読本 机間指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>PC</li> </ul>
	6	10	第2節 明治維新と近代国家の形成 ①黒船がやってきた ②志士たちの時代 ③手を結ぶ薩長 ④近代との出会い ⑤江戸が東京になった ⑥天皇の軍隊がつくられた ⑦スローガンは「富国強兵」 ⑧欧米文化がはいってきた ⑨日本の国境が定まった ⑩爆発する農民や士族の不满 ⑪国会開設が決まった	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕末から明治維新にいたる過程を歴史的な事件を踏まえて確認し、その経緯や社会の変化について理解する。</li> <li>明治政府の諸政策(廃藩置県や武士階級の特権撤廃、富国強兵策、中央集権化政策、不平等条約改正)について理解し近代国家が形成されていく過程を理解する。</li> </ul>	行動観察 教科書読本 机間指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>PC</li> </ul>
		8	⑫地主制が進行した ⑬立憲政治がはじまった ⑭国会がはじめて開かれた  第2章 近代日本のあゆみと国際関係 第1節 国際関係の推移と近代産業の成立 ①合言葉は条約改正 ②清国との対立が深まった ③政党政治が発した ④ロシアと対立を深めていく ⑤アジアへの侵略がはじまる	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由民権運動の活発化する流れを理解し憲法制定や国会開設の歴史的な事象を通して理解する</li> <li>不平等条約改正のための外交活動について理解する。</li> <li>日清、日露戦争について、その歴史的背景や結果がもたらした影響などについて理解する。</li> </ul>	行動観察 教科書読本 机間指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>PC</li> </ul>
<p>第1学期の評価方法</p> <p>1 定期考査(70%) ノート提出(15%) 学習態度等(10%) 板書活動・発表など(5%)</p> <p>2 ノートの提出状況と内容を重視します。</p>						



第 2 学 期	9	14	⑥日本の生糸が世界を制する ⑦国際経済に船出する ⑧貧富の差が広がった ⑨国家主義が台頭する ⑩西洋文化が広がっていく ⑪明治の文化が花開いた  歴史と生活② ・電話の普及について調べてみよう	・明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢の推移が密接に関係し、進められたことを理解する。 ・日清・日露戦争のおこった原因と、その結果について理解する。 ・日清・日露戦争を経て、アジア諸国に対して日本が勢力の拡張をおこなったことを理解する。	行動観察 教科書読本 机間指導	・ワークシート ・PC
	10					
	8	第2節 政党政治の展開と大衆文化の形成 ①民衆が政治を動かしはじめた ②最初の世界大戦に日本も参戦した ③成金の時代がやってきた ④朝鮮・中国の民衆が立ち上がった ⑤日本は米英に歩調をあわせた ⑥抑圧からの解放をめざして ⑦「平民宰相」が登場した ⑧モダンな都市と文化が出現した ⑨学問と芸術に新風が吹く	・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに就いて考察し第一次世界大戦の性格と国際協調体制の特色などを理解する。 ・第一次世界大戦後の社会の変容に注目し、社会運動の展開等について理解する。 ・産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及について考察させる。	行動観察 教科書読本 机間指導	・ワークシート ・PC	
	11					
	8	歴史と生活③ ・あかりが生活に与えた影響を調べてみよう 第3節 第二次世界大戦と日本 ①恐慌の嵐が吹きあれる ②日本の外交が行きづまる ③軍部の暴走がはじまった ④中国との長い戦いがはじまった ⑤戦争の影が暮らしにおよぶ ⑥すべてが戦争に協力させられた ⑦アメリカとの戦争がはじまった ⑧戦争が拡大する ⑨生活も戦争に染まった ⑩戦争が終わった	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に国際体制の変化を理解する。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動揺、戦後改革と日本国憲法の制定等を基に第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解すること。	行動観察 教科書読本 机間指導  行動観察 教科書読本 机間指導	・ワークシート ・PC	
	12					
第2学期の評価方法 1 定期考査（70%）ノート提出（15%）学習態度等（10%）板書活動・発表など（5%） 2 ノートの提出状況と内容を重視します。						

第 3 学 期	1	6	<p>第2節 経済国家としての発展</p> <p>①平和への願いが叫ばれた</p> <p>②保守と革新の正面衝突</p> <p>③奇跡の経済成長がはじまった</p> <p>④あらたな戦争が開始された</p> <p>⑤豊かさと中流意識</p>	<p>・戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観饒辺科に注目し、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>・冷戦の変容と終結の背景、地域紛争の拡散とその影響に着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連させて幅広く考察させる。</p>	<p>行動観察 教科書読本 机間指導</p>	<p>・ワークシート ・PC</p>
	2	6	<p>第3節 現代の日本と世界</p> <p>①2つのショック</p> <p>②経済大国が誕生した</p> <p>③消費はファッションになった</p> <p>④バブルはこうしてふくらんだ</p> <p>⑤大きな歴史の転換をむかえた</p> <p>⑥政局と経済が混迷する</p> <p>⑦これからの日本について考えよう</p>	<p>・アジアの諸地域における経済発展の背景民主化や地域統合の背景、地域紛争の拡散の背景とその影響について注目し、現代社会につながる諸課題について考察する。</p> <p>・地球規模で一体化した構造を持つ現代世界の特質と展開過程を理解させ、人類の課題について歴史的観点から考察させる。</p>	<p>行動観察 教科書読本 机間指導</p>	<p>・ワークシート ・PC</p>
<p>第3学期の評価方法</p> <p>1 定期考査（70%）ノート提出（15%）学習態度等（10%）板書活動・発表など（5%）</p> <p>2 ノートの提出状況と内容を重視します。</p>						

# 令和5年度「歴史総合」シラバス

教科名：地理歴史科	科目名：歴史総合
単位数：2	教科書：高等学校 新歴史総合（第一学習社）
担当クラス：2年2組（機械シ）、2年3組（自動車）、2年4・5組（電子シ）・2年6組（土木）・2年7組（IT）・2年8組（CD）	

	校長	教頭	
検印			

<b>学習の到達目標</b>	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</li> <li>近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</li> <li>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</li> </ul>
----------------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	評価方法
4	第1部 歴史の扉 ①歴史と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。</li> <li>近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
4	②歴史の特質と資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。</li> <li>複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
4	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 近代化への問い	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。</li> <li>近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
5   9	第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 工業化の進展と国民国家の建設 第3節 結び付く世界と日本の開国 第4節 帝国主義とアジア諸国の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。</li> <li>産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。</li> <li>18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	評価方法
		<ul style="list-style-type: none"> <li>列強の進出と植民地の形成, 日清・日露戦争などを基に, 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。</li> <li>18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して, 主題を設定し, アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴, アジア各地域間の関係, アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>産業革命の影響, 中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して, 主題を設定し, アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>国民国家の形成の背景や影響などに着目して, 主題を設定し, アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 政治変革の特徴, 国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>帝国主義政策の背景, 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して, 主題を設定し, アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 帝国主義政策の特徴, 列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○	○	○	
9	近代化と現代的な諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由・制限, 平等・格差, 開発・保全, 統合・分化, 対立・協調などの観点から主題を設定し, 現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。</li> <li>事象の背景や原因, 結果や影響などに着目して, アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 主題について多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
9	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 国際秩序の変化や大衆化への問い	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係の緊密化, アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭, 植民地の独立, 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化, 生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。</li> <li>国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し, 問いを表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
10   11	第1節 第一次世界大戦と大衆社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦の展開, 日本やアジアの経済成長, ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭, ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に, 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。</li> <li>大衆の政治参加と女性の地位向上, 大正デモクラシーと政党政治, 大量消費社会と大衆文化, 教育の普及とマスメディアの発達などを基に, 大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。</li> <li>第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 日本の参戦の背景と影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第一次世界大戦の性格と惨禍, 日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
11   12	第2節 経済危機と第二次世界大戦 第3節 第二次世界大戦後の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界恐慌, ファシズムの伸張, 日本の対外政策などを基に, 国際協調体制の動揺を理解する。</li> <li>第二次世界大戦の展開, 国際連合と国際経済体制, 冷戦の始まりとアジア諸国の動向, 戦後改革と日本国憲法の制定, 平和条約と日本の独立の回復などを基に, 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</li> <li>経済危機の背景と影響, 国際秩序や政治体制の変化などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 各国の世界恐慌への対応の特徴, 国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	評価方法
		<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第二次世界大戦の性格と惨禍, 第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活, 日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>			○	
12	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由・制限, 平等・格差, 開発・保全, 統合・分化, 対立・協調などの観点から主題を設定し, 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。</li> <li>事象の背景や原因, 結果や影響などに着目して, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 主題について多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
1	第3章 グローバル化と私たち グローバル化への問い	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦と国際関係, 人と資本の移動, 高度情報通信, 食料と人口, 資源・エネルギーと地球環境, 感染症, 多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。</li> <li>グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し, 問いを表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
1   2	第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱植民地化とアジア・アフリカ諸国, 冷戦下の地域紛争, 先進国の政治の動向, 軍備拡張や核兵器の管理などを基に, 国際政治の変容を理解する。</li> <li>西ヨーロッパや東南アジアの地域連携, 計画経済とその波及, 日本の高度経済成長などを基に, 世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。</li> <li>地域紛争の背景や影響, 冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 地域紛争と冷戦の関係, 第三世界の国々の経済政策の特徴, 欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>冷戦が各国経済に及ぼした影響, 地域連携の背景と影響, 日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 冷戦下の世界経済や地域連携の特徴, 経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
2   3	第2節 世界秩序の変容と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>石油危機, アジアの諸地域の経済発展, 市場開放と経済の自由化, 情報通信技術の発展などを基に, 市場経済の変容と課題を理解する。</li> <li>冷戦の終結, 民主化の進展, 地域統合の拡大と変容, 地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に, 冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。</li> <li>アジアの諸地域の経済発展の背景, 経済の自由化や技術革新の影響, 資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>冷戦の変容と終結の背景, 民主化や地域統合の背景と影響, 地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
3	現代的な諸課題の形成と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会の実現を視野に入れ, 自ら主題を設定し, 歴史的経緯を踏まえて, 現代的な諸課題を理解する。</li> <li>事象の背景や原因, 結果や影響などに着目して, 日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり, 現代的な諸課題を展望したりするなどして, 主題について多面的・多角的に考察し, 表現する。</li> <li>諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>

# 令和5年度 3年選択 A「政治・経済」シラバス

教科	公民	単位数	2	履修年次	3年普通科	教科書：「高等学校 新政治・経済」（第一学習社） 副教材：新政治・経済ノート（第一学習社）
----	----	-----	---	------	-------	--

学習の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
評価のポイント①	①定期考査・単元テスト ②ノート、プリントの取組状況 ③レポート、宿題などの提出物 ④出席状況等により総合的に評価

a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用 の技能	d. 知識・理解	e. 考査による評価
現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習した内容を総合的に体系化し、定期的な考査により用語・基礎基本・応用事項などの関連問題を解くことができる。

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本 原理と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と世界の政治体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。</li> <li>・法に関する基本的な見方や考え方を把握しながら、法の意義について理解する。</li> <li>・基本的な人権が確立するまでの歩みを理解しながら、人権保障の国際的な広がりについて考察する。</li> <li>・民主主義の発展について理解するとともに、各国の政治体制について諸資料を利用して調査する。</li> </ul>	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト
	5	④日本国憲法の基本原理 ⑤平和主義と自衛隊 ⑥基本的人権の保障と新しい人権 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の成立過程を把握しながら、日本国憲法の三大原理について理解する。</li> <li>・大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察し、それぞれの憲法の本質について理解する。</li> <li>・天皇の地位と役割について、国民主権と関連させて理解する。</li> <li>・日本国憲法をめぐる論点について関心を高める。</li> <li>・個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について把握しながら、権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。</li> <li>・自由権や社会権、参政権などの基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を把握する。</li> <li>・人権に関する判例を活用しながら、権利と義務との関係や、「公共の福祉」の概念について理解する。</li> <li>・国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解する。</li> <li>・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。</li> <li>・二院制の意義や法律の制定過程、衆議院の優越など、国会に関する基本的事項について把握しながら、国会の課題についても関心を高める。</li> </ul>	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
----	---	------	-------------------	---	---	---	---	------

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	6	⑩地方自治制度と住民の権利 ⑪政党政治と選挙制度 ⑫民主政治における世論の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の福祉国家の下では、国家機能が複雑化・大規模化して、行政府の役割が増大したことを理解する。</li> <li>裁判員制度について理解し、報道資料などから国民の司法参加の意義を考察するとともに、刑罰の意義や犯罪被害者の救済、犯罪者の更生について関心を高める。</li> <li>地方自治の本旨を把握しながら、地方分権と住民の権利について理解し、国と地方の関係を考察する。</li> <li>地方財政の現状と地方自治の課題について関心を深め、報道資料などから自分の住んでいる地域の実情を調査する。</li> <li>日本の選挙制度について把握しながら、政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。</li> <li>政党政治や選挙、国民の政治意識や政治行動の特徴などを理解しながら、政治への関心を高める。</li> <li>選挙結果や投票率の分析・動向などを、さまざまな情報手段を活用して調査し、主権者としての参政のあり方について考察する。</li> <li>マス・メディアの役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて理解する。</li> <li>特定の政治的志向をもたない人々の増大や、政治的無関心の広がりについて考察する。</li> </ul>	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト
	7	第2章 現代の国際政治と日本 ①国際社会と国際法 ②国際連合の組織と役割 ③国際政治の動向 ④国際紛争と難民問題 ⑤国際平和と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会の成立過程を把握しながら、実際には国家間でさまざまな格差があることを理解する。</li> <li>国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解する。</li> <li>グローバル化の進展により、国際社会ではNPOや多国籍企業など国家以外の機関や組織が活動していることを理解する。</li> <li>国際連盟と国際連合の違いを把握しながら、国際連合の役割、国際連合が抱えている課題について理解する。</li> <li>冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに、冷戦終結後の世界が冷戦時代と比べてどのように変化したのかを理解する。</li> <li>民族紛争を例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察するとともに、国際社会における文化や宗教の多様性について理解する。</li> <li>国際平和に関する問題について、メディアを利用して調査し、国際平和のために日本が貢献できることについて、多角的な視点で考察する。</li> </ul>	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査
2	9	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 ①経済社会の発展 ②経済主体と経済活動 ③市場経済の機能と限界 ④経済成長と景気変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代経済の特質について理解する。</li> <li>家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのかを理解する。</li> <li>株式会社とはどのようなものか、所有と経営の両面から理解するとともに、企業の社会的責任について関心を高める。</li> <li>市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。</li> <li>独占、寡占状態の市場での消費者に対する影響と、その弊害を排除するための措置について理解する。</li> <li>国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較する。</li> </ul>	○	○		○	授業態度 発問評価 単元テスト 提出課題
	10	⑤財政のしくみとはたらき ⑥金融のしくみとはたらき ⑦物価の動き ⑧日本経済の歩み	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政の基本的なしくみや役割、租税の意義について理解しながら、その使途について関心を高める。</li> <li>日本の財政の現状について、報道資料などから調査し、公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察する。</li> <li>金融のしくみや役割、日本銀行の金融政策、金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。</li> <li>物価の変動要因を理解するとともに、物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。</li> <li>人々の生活が豊かになる一方で、公害などの社会問題が発生したことを認識する。</li> </ul>	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
2	11	⑨中小企業の地位と役割 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大企業と中小企業の違いや日本経済において中小企業が果たしている役割について理解する。</li> <li>・日本の農業が直面している課題について理解する。</li> <li>・消費者問題の現状や消費者運動、さまざまな法制度について、諸資料を利用して調査する。</li> <li>・クレジットやローンなどが日常生活で果たしている役割と、多重債務問題について理解する。</li> <li>・情報化が政治・経済・国民生活に及ぼす影響や、高度情報社会の課題について理解する。</li> </ul>	○	○		○	授業態度 発問評価 単元テスト 提出課題
	12	⑬労働問題 ⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働基本権と労働三法の基本的内容とその意義を理解する。</li> <li>・メディアを利用して、若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者など最近の労働問題をさまざまな視点で調査する。</li> <li>・日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに、現在の制度上の問題点と課題について考察する。</li> <li>・すべての人が社会に参画するための方法を、諸資料を利用して調査する。</li> <li>・化石燃料・原子力発電・新エネルギーのそれぞれの違いとメリット・デメリットを理解する。</li> <li>・深刻化している地球的規模の環境問題に関心を持ち、どのように乗りこえるべきか考察する。</li> </ul>	○	○	○	○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査
3	1	第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 ③国際経済の諸問題と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。</li> <li>・国際収支の基本的な構成を把握しながら、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。</li> <li>・為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。</li> <li>・グローバリゼーションにともなうヒト、モノ、カネの国際的な移動が、国際経済に与える影響について、関心を高める。</li> <li>・地域的経済統合やFTA・EPAについて関心を持ち、諸資料を利用して具体的に考察する。</li> <li>・先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら、日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。</li> </ul>	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査
	2	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 [選択] ①少子高齢社会と社会保障 ②地域社会の変貌と住民生活 ③雇用と労働をめぐる問題 ④産業構造の変化と中小企業 ⑤農業と食料問題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題 [選択] ①地球環境と資源・エネルギー問題 ②国際経済格差の是正と国際協力 ③人種・民族問題と地域紛争 ④国際社会における日本の立場と役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度(視点)から考え、客観的な立場に立って望ましい解決のあり方を考える。</li> <li>・第1編・第2編の学習の成果の上に立って、現代社会の諸課題について探究し、さまざまなメディアや聞き取りなどによって調査する。</li> <li>・調査結果をもとに、話しあい・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現する。</li> </ul>	○	○	○	○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト